

5-3 3/4時の指導計画

(1) 目標

- ・ 筆者の表現の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつことができる。
- ・ 「なりきり作文」を書きながら、文章の展開に着目し、表現の工夫とその効果について読み取り、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況にある生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	○ 前時を想起させ、本時の目標と学習の流れを確認する。	
	○ 筆者の表現の工夫を自分の表現に生かそう。			
展開	2 前時で書き込んだ表現の工夫について再確認する。 3 読み取った表現の工夫を生かしながら、「なりきり作文」を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 条件 ・原稿用紙の使い方に従い、300～400字で書く。 ・「次の瞬間」を想像させるように表現する。 ・「読みの観点」を表現に生かす。 </div> 4 自己評価をし、ワークシート⑤に表現の工夫をした部分とその効果について記述する。	ワークシート④ ワークシート②④⑤ ワークシート⑤ 学習の用紙 [表現の工夫]	○ 座席の近い者同士で交流させる。 ○ 「なりきり作文」を書く際に参考にする部分を確認させる。 ○ 教材文の表現を生かしながら、想像力を働かせて書くよう心掛けさせる。 ○ 条件を提示し、確認しながら書くよう指示する。 ○ 原稿用紙の使い方の補助資料が掲載されている教科書のページを板書する。 ○ 自分が書いた文章を再読させることで、身に付けた力を認識させる。	関-1 筆者の表現の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもとうとしている。 【ワークシート⑤の記述】 「次の瞬間」についての記述に注目させながら個別指導する。 読-1 「なりきり作文」を書きながら、文章の展開に着目し、表現の工夫とその効果について読み取り、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 前時に配布した学習の手引きを参考に、意図した効果を具体的に書くよう指示する。 </div> 【ワークシート⑤の記述】
まとめ	5 本時の振り返りをし、自己評価をする。 6 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○ 本時の学習内容を振り返らせ、学習計画表に自己評価を記入させる。 ○ 次時の予告をする。	